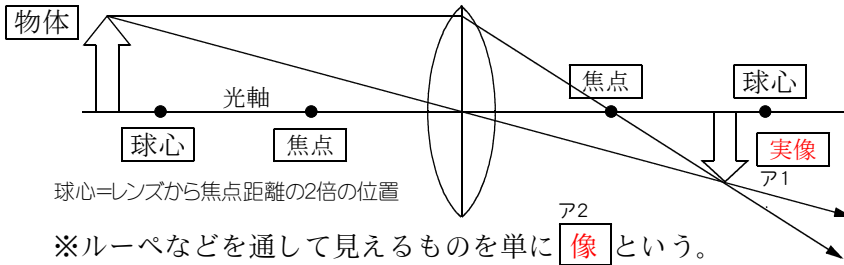


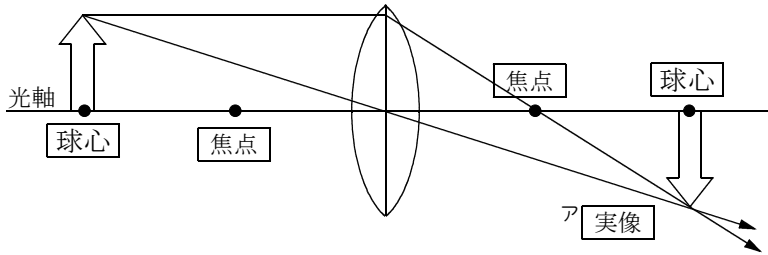
実験 1 物体を焦点距離の2倍(球心)以上に置いたとき



球心より遠い場合

反対側の **球心と焦点の間に** 物体より **小さい上下左右が逆の実像** ができる。物体を球心から遠ざけるほど像は **小さく** なり像の位置は **焦点** に近づく。

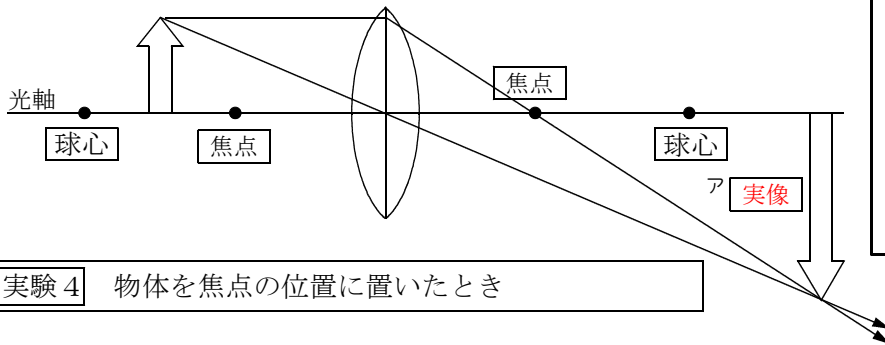
実験 2 物体を球心上に置く



球心上の場合

反対側の球心上に **物体と同じ大きさで上下左右が逆の実像** ができる

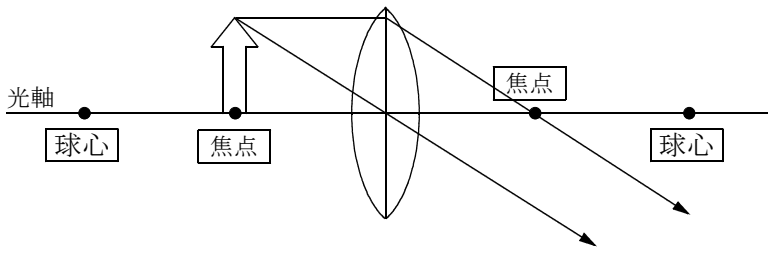
実験 3 物体を球心と焦点の間に置く



球心と焦点の間の場合

反対側の **球心より外側に** 物体より **大きい上下左右が逆の実像** ができる。物体を焦点に近づけるほど像は **大きく** なり像の位置は **球心から離れる**。

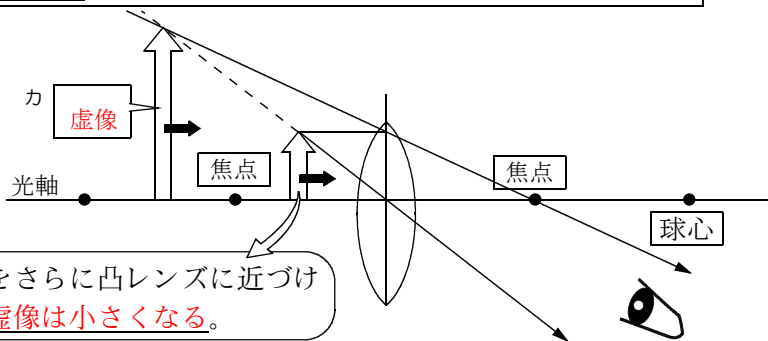
実験 4 物体を焦点の位置に置いたとき



焦点上の場合

レンズを通りこす光線は **平行になり1点に集まらず像はできない**

実験 5 物体を焦点とレンズの間に置いたとき



焦点とレンズの間の場合

スクリーンをどこに置いても **像はうつらない**。そのかわり物体の反対側からレンズを見ると、物体より **大きな虚像が見える**。

物体をさらに凸レンズに近づけると **虚像は小さくなる**。